

第 13 回 高大連携協議会（機械系）議事録

日時：平成 29 年 11 月 30 日（木）15:30～17:00

会場：宮崎大学工学部 C 棟 C421 会議室

出席者（敬称略・順不同）：

<工業高校>

高妻 智仁（小林秀峰）、古川 敦弘（延岡工業）、原田 弘樹（日向工業）、
藤崎 公滋（佐土原）、串間 宗夫（宮崎工業）、園木 幸治（都城工業）、
中城 清治（日南振徳）

<宮崎大学>

河村 隆介（連絡係）、長瀬 慶紀、大西 修、各務 聡、盆子原 康博、
山子 剛

進行：高妻 智仁（小林秀峰）

記録：河村 隆介（宮崎大学）

協 議 内 容	担 当
<p>議事に先立ち、出会者の自己紹介を行った。</p> <p>(1) 高校側状況報告</p> <p>配布資料をもとに進路状況を中心に各校からの状況報告があった。近年、求人数の増加とともに、進学希望者は減少し、就職希望者が増加している。企業内学園を取り入れる企業が増加しており、専門技能者を目指す生徒が増加している。また、県内企業への合格者も増えている。保護者にとって大学授業料の負担が進学への敷居を高くしている。また、少子化により入試倍率が 1 倍を超える程度となっている高校もあり、将来、定員割れが危惧されることなど報告があった。</p> <p>(2) 大学側状況報告</p> <p>配布資料をもとに、大学、学部・大学院および学科の状況報告があった。特別講演会、オープンキャンパス、工業高校生インターンシップ、スクールトライアル、テクノフェスタ・アドベンチャー工学部の実施状況、国際会議発表大学院生等の受賞、新入教員の紹介、平成 28、29 年度進路状況について報告があった。</p> <p>(3) 今後の高大連携について</p> <p>①大学でのインターンシップについて</p> <p>8 月 17、18、21 日に宮崎大学で実施した工業高校生インターンシップの実施状況および受講生アンケートの集計結果について報告があり、受講生の多くは大学進学を希望しており、大学の授業、教室・施設の見学を目的としているという報告があった。</p> <p>平成 30 年度から AO 入試が 9 月末に行われることから、当事業の実施期間を従来のお盆休み明けよりも早い時期に実施するよう検討することとした。また、高校側へ開催案内を平成 30 年 6 月中旬頃に問い合わせることとした。</p>	<p>全員 各高校 担当者</p> <p>大学 各担当者</p> <p>高妻,河村</p>

<p>②高校でのスクールトライアルについて</p> <p>機械設計システム工学科 2 年次学生 1 名，1 年次学生 2 名の計 3 名がスクールトライアル事業に参加した。今後も，高校教諭を志望する学科学生に対してスクールトライアルの参加を案内することとした。</p>	高妻,河村
<p>(4) その他</p> <p>①本学工学部 AO 入試について</p> <p>平成 31 年度工学部 AO 入試について，大学入試制度の改革に伴う経過措置について質問があった。平成 31 年度工学部 AO 入試実施概要の資料に基づき選抜方法等について紹介があった。募集要項については，今後公開される本学ウェブサイトの入試情報を参照されたいとアナウンスがあった。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	高妻,園木, 河村

<敬称略>



第 13 回 高大連携協議会（機械系）（平成 29 年 11 月 30 日，宮崎大学）の様子

協議会の趣旨（2006.10.26 第 1 回高大連携協議会（機械系）にて趣旨説明あり）

- 高校と大学の専門分野（機械系）のカリキュラムについて，相互理解を深める。
- 教育プログラム全体にわたり連携して，教育目標の実現に資する。
- これらを通して，中等・高等教育に対する地域社会の期待に応える。